

前準備：堆肥 4袋(60kg) 鶏糞2袋(30kg)は  
2月中に耕耘機にて混ぜ込み済です

□大根のマルチ引き(⑧列目)

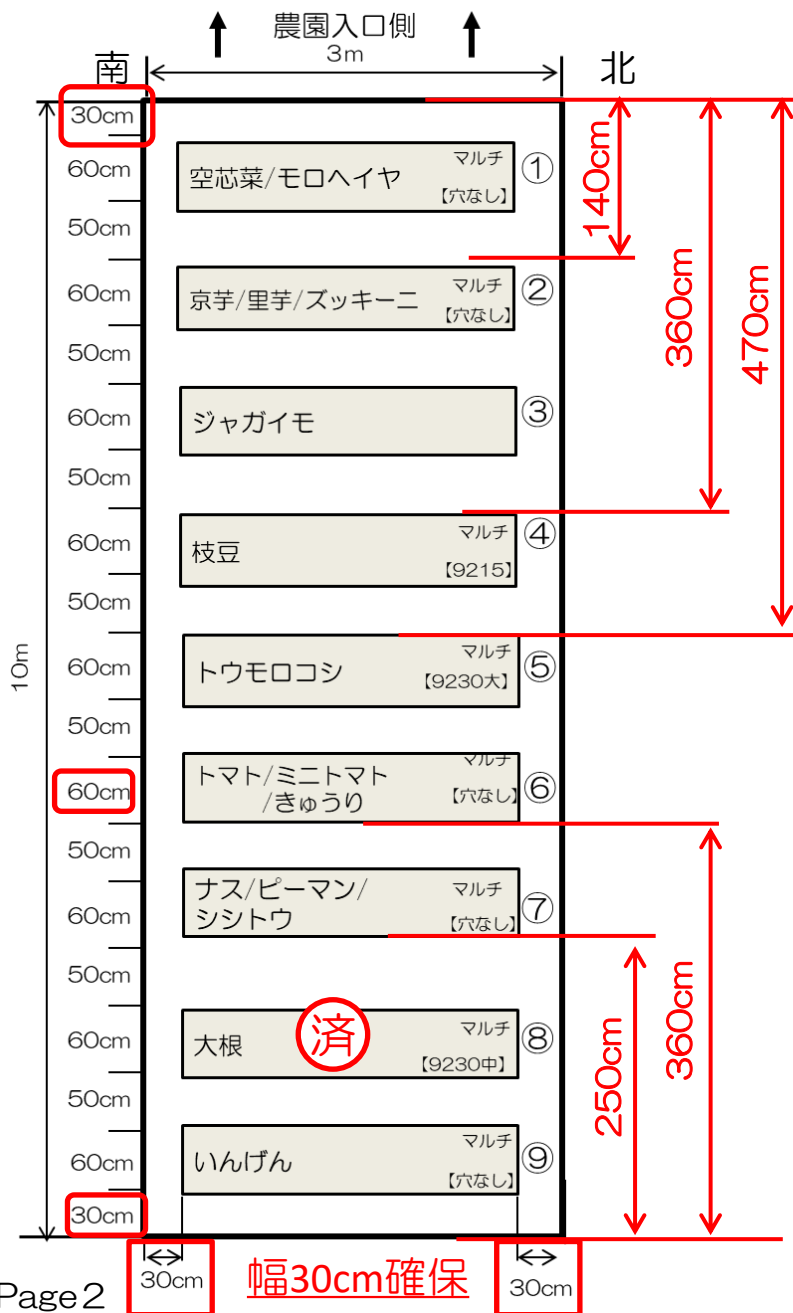
- 施肥：化成8号、石灰、アヅミン 各1杯(約200g)
- マルチ9230中をひく

できるだけ3/15まで

## マルチ引き手順

3ページ以降のマルチ引き資料を読んで作業ください  
自信がない方は指導しますのでお声がけください

- ・採寸し、うね両端に間縄を引く
  - ・間縄の内部に施肥した後、レーキで肥料をうね全体に混ぜる
  - ・うねを塩ビパイプ等を使って平らにする  
(凸凹にすると水が溜まります)
  - ・うね全周を掘る 側面→前後
- 通路部の30cmは必ず確保ください(スコップ幅分)
- 慣れないうちは角スコップを使うと楽です。
- 注1.土はうねに垂直に掘り、土はうね外側によける
- 注2.4隅部をしっかり掘る
- ・マルチを覆い、左右に引っ張りながら溝に埋め込む  
しわが出ないようにマルチの縁をしっかりと押し込む。



⑧列：大根以降のマルチひきです

これ以降肥料は全て同一です **マルチの種類に注意**  
優先順位が高い順番に記載しています

□トウモロコシのマルチひき(⑤列目)

- ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- ・マルチ9230大をひく

3/22まで

□枝豆のマルチひき(④列目)

- ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- ・マルチ9215をひく

□いんげんのマルチひき(⑨列目)

- ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- ・穴なしマルチをひく

□トマト/きゅうりのマルチひき(⑥列目)

- ・施肥：野菜名人、アツミン、石灰 各1杯(約200g)
- ・穴なしマルチをひく

※できるだけマルチ幅60cmを確保するように！  
狭いと支柱立て/植付の際、苦労します

3/29まで

□ナス/ししとう/ピーマン列のマルチひき(⑦列目)

- ・施肥：野菜名人、アツミン、石灰 各1杯(約200g)
- ・穴なしマルチをひく

□イモ類/ズッキーニのマルチひき(②列目)

- ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- ・穴なしマルチをひく

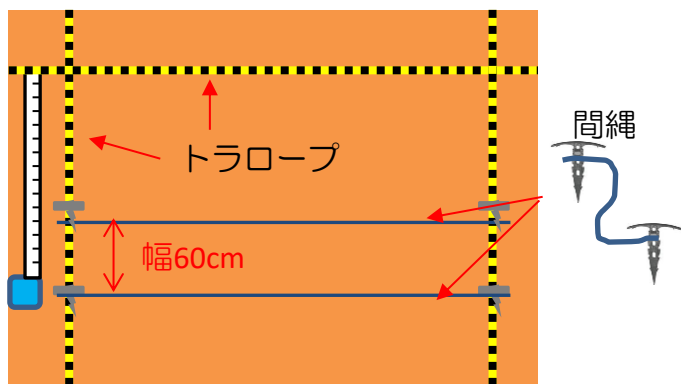
4/5まで

□空芯菜/モロヘイヤのマルチひき(①列目)

- ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- ・穴なしマルチをひく

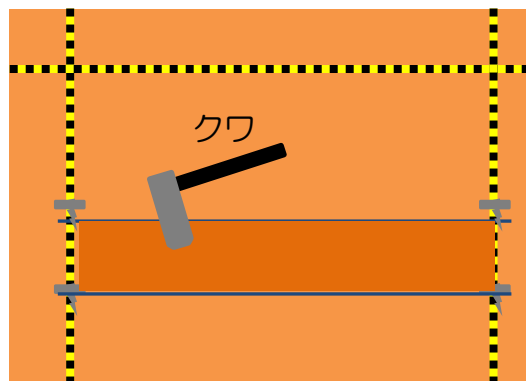
4/12まで

## 1：採寸



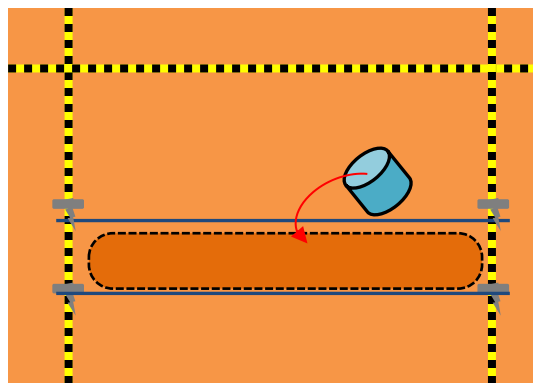
トラロープを基準に、寸法をはかります  
うねの両端に間縄をひきます

## 補足作業：耕運(任意)

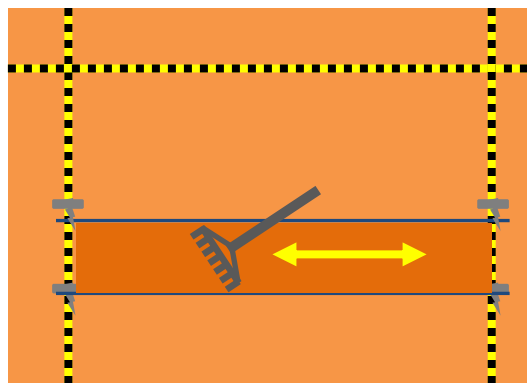


春は耕運機で耕運済のため、個別に耕運する必要はありません。  
ただし、土をより柔らかくしたい方、誤って踏み固めてしまっ  
た方は、採寸作業後のタイミングで耕運してください

## 2：肥料まき

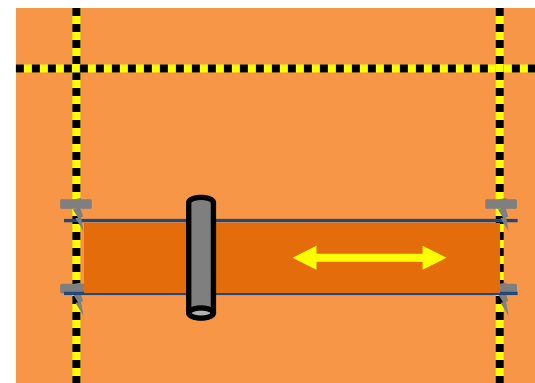


間縄の間に肥料をまきます



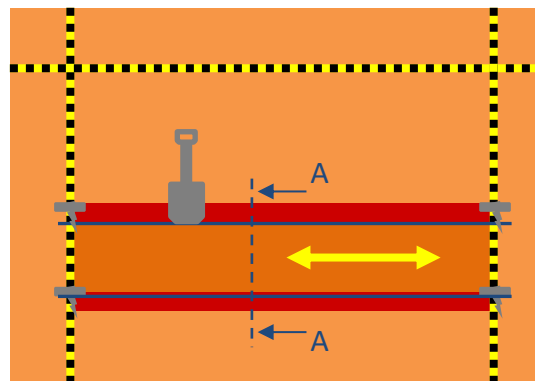
レーキ等で肥料をなじませます

## 3：平坦化

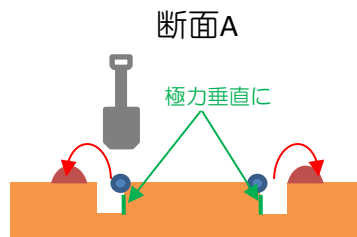


塩ビパイプで表面を平らにします  
※表面が凸凹していると  
マルチに水が溜まります

#### 4：長手側の溝掘り



スコップを立て、間縄に対して垂直に掘っていきます



土は間縄の外側によけます

間縄長手側に溝を掘ります  
慣れない方は角スコップがお勧めです

#### 6：マルチひき

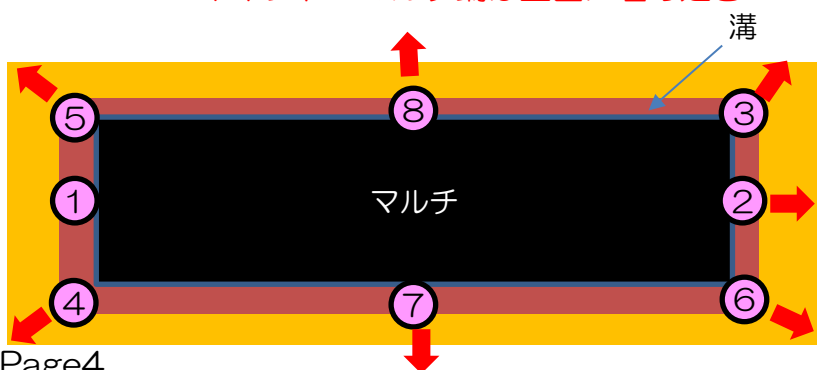
畝にマルチを被せたのち、土に埋めこむ

**重要：マルチ端は垂直方向に埋め込みます(風で飛びにくくなります)**

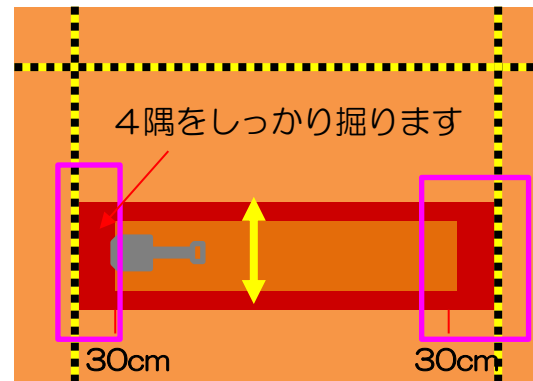
①～⑧の手順で行うとしわが少ないマルチをひけます



ポイント：マルチ端は垂直に埋め込む



#### 5：短手側の溝掘り



間縄を外し、短手側に溝を掘ります

- **通路分30cmを確保ください(重要)**  
※角スコップ幅が30cmの目安です
- 長手側に比べ、深めに掘ります  
(小さいスコップで掘るといいです)

①短手の中央部に土をかぶせる(以下の作業、マルチ端が外に出ないように注意する)

②反対側に移動し、マルチの中央を矢印方向に引っ張りながら土をかぶせる

③隅部を矢印方向に引っ張りながら土をかぶせる

④反対側に移動し、③の対角の隅部を矢印方向に引っ張りながら土をかぶせる

⑤⑥ ③、④と同じ作業を繰り返す

⑦長手側を矢印方向にしわを発生させないように引っ張りながら土をかぶせる

⑧反対側に移動し⑦と同様の作業を行う

## 補足1

マルチとは正式には「マルチング」と言い、土の表面をポリフィルム等で覆う作業を意味します。  
マルチを行う効果は、以下の通りです。

- ①地温を調整する      ②土壌水分を保持する(乾燥防止)
- ③雑草の防除          ④土の跳ね返りを防ぐ(病害防除)

色も、黒/透明/シルバー等があり、それぞれ以下の効果が優れているという特徴があります。

黒：雑草防除 / 透明：地温調整 / シルバー：アブラムシ防除

当農園では雑草防除の効果が高い、黒のポリフィルムを多く使用しています。

ちなみに、マルチ9230の「9230」とは、マルチの種類を示しており、9→95cm幅/2→2列/30→30cm間隔を意味しております。カブ等で使う9415は、95cm幅/4列/15cmとなります。

当講習では、マルチ→穴なしマルチ、マルチ9×××→穴ありマルチと呼びます。

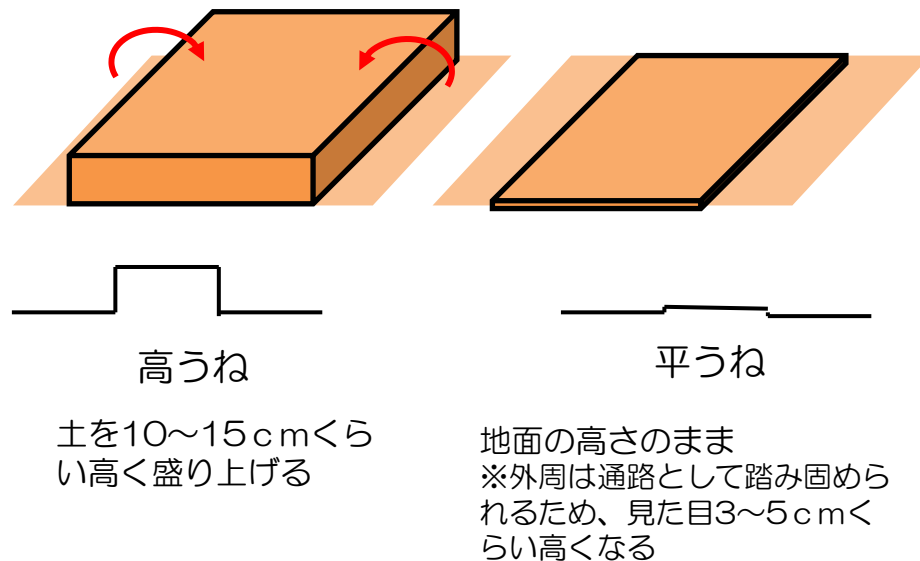
2種類以上のマルチ引きがある場合、間違えないように注意してください。

## 補足2

うね(畝)の作り方は大きく分けて、高うね/平うねがあります。当農園は水はけがよいため、平うねで行っております。無理に高うねにする必要はありません。

本資料でおわकारの通り、当農園では高うねの作り方の指導は行っておりません

希望する方は高うねにしても構いませんが、マルチ側面の埋め込みが甘いと風で飛びやすくなるので、注意してください。



## 「肥料について」

第一回講習では「畑づくり」では堆肥(農園側で実施済み)、「ジャガイモ植え」では配合肥料撒きといった作業があります。同じように感じるかもしれませんが、それぞれ目的が異なります。

「畑づくり」の堆肥/石灰撒きは、**土壌を調整する**ことが主な目的です。

- 堆肥：土の保肥性/保水性/通気性等を高めたり、土中の微生物の活動を活発にする  
ことで、土中の環境を良くする優れた「土壌改良材」としての働きをします。
- 石灰：土壌酸度を酸性→アルカリ性に変え、野菜が育ちやすいような酸度に調整します。

「ジャガイモ植え」の配合肥料撒きは、**野菜が成長するのに必要な栄養分を与える**  
ことが目的です。野菜に必要な三要素(窒素：N、リン：P、カリ：K)を与えます。

どちらも畑の状態により適正量が異なるため、本講習で示した量がそのまま他の畑(市民農園等)で使えるというわけではありません。ご注意ください